

【開催概要】

米国の政策金利が上げられたためかインカムゲインのない原油の価格が下がり「逆オイルショック」とまで呼ばれ、資源安はリサイクル業者にとっては逆風になります。他方、日本マクロエンジニアリング学会が登録している日本学術会議でも Trans-disciplinary を合い言葉として学術研究の実社会への応用が求められております。今回の研究大会では本学会の各研究会から発表され、討論されました。[当日の状況](#)

【プログラム】

第 1 部:東北大学からのご発表

○ 被災地における復興教育支援事業の必要性和今後の展望

劉 庭秀・齋藤 優子 \*・範 耕杏・バートルエルデネダライ・シンジェー、ボロルチメグ・王 燦堯  
(\*のみ 日本学術振興会特別研究員(東北大))

○ 小学校社会科における廃棄物教育の課題分析と改善方法について

齋藤優子\*・劉 庭秀・西出 直哉・李熙娥+・胡 亜楠 (+ のみ仙台白百合女子大学 )

第2部

○『長期停滞論』について

山崎 彩夏・茂木 創(拓殖大学 )

当論文は、みずほ学術振興財団平成 28 年度(第 57 回)懸賞論文(学生の部)1 等を受賞しました。

○ KAIZEN と日本の途上国支援

菊池剛(拓殖大学院国際協力研究科博士)

○ [海洋深層水の活用](#)

久田安夫(NPO 海ロマン 理事 )

第3部

○ [資産税と経済成長 に関する考察](#)

角田晋也(当会 理事・企画 委員長 )

○ イスラムについて

木本研一(当会 理事・総務委員長 )

【開催日時】 2016年2月20日(土)14時から

【会場】拓殖大学 文京キャンパス C 館 603 室

添付

日本 マクロエンジニアリング学会 第 31 回年次研究大会 ポスター